

## 令和 6（2024）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

### サザエ日本海

対象水域	日本海	参画機関名	水産研究・教育機構 水産技術研究所 沿岸生態システム部、水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター 水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県栽培漁業センター、島根県水産技術センター、全国豊かな海づくり推進協会
------	-----	-------	---

- ・ 令和 4 年度資源評価調査報告書を公表済み（[https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report\\_2022\\_232.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report_2022_232.pdf)）、次回令和 8 年度を予定

#### (1) 調査の概要

- ・ 機構は生物情報収集調査および各府県漁獲情報の集約を実施
- ・ 各府県は漁獲統計調査を実施
- ・ 全国豊かな海づくり推進協会は府県別放流数の集約を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

#### (2) データ収集状況

- ・ 青森県では日本海沿岸～陸奥湾の主要21港の1965～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 秋田県では1965～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 山形県では1965～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 新潟県では1965～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 富山県では1965～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 石川県では主要10港の1965～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 福井県では1965～2023年の月別漁獲量を収集済み
- ・ 京都府では1965～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 兵庫県では1965～2023年の月別漁獲量を収集済み
- ・ 鳥取県では1965～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み

- ・島根県では1965～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・令和6年能登半島地震の影響を受けた石川県を除く農林水産統計による2023年の対象海域内のサザエの漁獲量（暫定値）は1,429トンであり、2022年より204トン増加

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和4年度資源評価調査報告書を参照 ([https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report\\_2022\\_232.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report_2022_232.pdf))
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・人工種苗の放流が行われており、2022年には鳥取県、兵庫県、京都府、新潟県、福井県、石川県、島根県、富山県の8府県で合計932千個を放流
- ・令和6年能登半島地震の影響により、2023年のサザエの漁獲量（暫定値）には石川県のデータは含まれていない